

沖縄県こども計画策定に係る
こども・若者等の意見表明

沖縄県こども未来部

令和6年11月

【 目 次 】

1. こどもの意見表明（未就学児）・・・・・・・・・・ 1
2. こどもの意見表明（小・中・高・大学生まとめ）・・・ 3
3. 沖縄県こども計画（仮称）策定に係る
県民アンケート（若者・保護者）・・・・・・・・ 9
4. 配慮が必要なこども・若者の意見表明・・・・・・・・ 25



こどもの意見表明（未就学児）

令和6年11月 沖縄県こども未来部こども若者政策課

調査の概要

未就学児

調査の目的

沖縄県こども計画（仮称）の策定にあたり、計画の対象となるこども達の意見を計画へ反映させるための取組として、こども達の意見表明、社会参画の場づくりを実施しました。

調査対象者数、実施時期

対象者：CFOレッジョ・エミリア・
アプローチ幼児教育センターに通う
4～5歳の園児 17名

実施時期：令和6年7月9日（火）

調査方法

小・中学生等のこども達へ実施したアンケート項目の中から、現場の保育士との調整の下、対象となるこども達でも自らの意見として答えられる内容の設問2つ「なりたい自分」、「どんな地域にしたいか」に質問内容を絞って実施した。

日頃から関わる保育士にファシリテートして頂きながら、約1か月の時間をかけて2つの質問に対するこども達の意見を、各児童が文字や絵を用いて表現し、発表会の場で各自の作品を紹介して貰う形で意見表明を実施しました。

- ・警察官（みんなを助けたい）
- ・消防士（みんなを助けたい）
- ・パティシエ（みんなにケーキを食べてもらいたい）



- ・バレリーナ（きれいなダンスを見せたい）
- ・ボクサー（強くなりたい）
- ・ジュース屋さん（みんなの笑顔が見たい）

- ・ファッションデザイナー（きれいな服を着たい）
- ・シェフ（美味しいごはんを食べてもらいたい）
- ・お母さん（お母さんが大好き）
- ・おもちゃの修理士（ゴミを減らしたい）



問2 自分の住んでいる場所をどんな地域（街）にしたいですか（地域のためにできること）

- ・お花がいっぱいの街
- ・公園がいっぱいある街
- ・いっぱいお花とやさしい人がいる街
- ・動物も住みやすい街
- ・お魚がいっぱいの街
- ・自然がいっぱい
- ・家族がいっぱい
- ・畑がいっぱい
- ・いっぱい怒らない
- ・痰をはかない



こどもの意見表明 (小・中・高・大学生まとめ)

令和6年11月 沖縄県こども未来部こども若者政策課

調査の概要

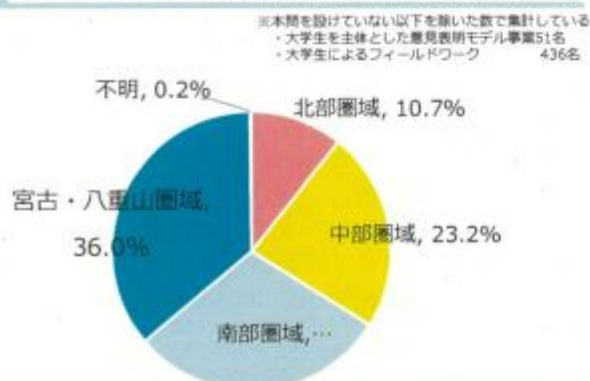
調査の目的

沖縄県こども計画（仮称）の策定にあたり、計画の対象となるこども達の意見を計画へ反映させるための取組として、こども達の意見表明、社会参画の場づくりを実施しました。

表明された意見の傾向

こども達から様々な意見が表明されました。小、中、高、大学生と年齢を重ねることで表現がより具体的になってきますが、意見内容は概ね同様の傾向がみられました。

住んでいる地域（n=1248）



調査方法

クラスや学年単位で「こどもの権利」についての説明動画等を活用した出前授業等を行い、タブレット等を活用してWebアンケートによる意見表明を実施しました。また、モデル事業として県内2大学の授業を活用して、大学生からの意見表明、さらに大学生が地域のこども若者の意見表明の場づくりを行い、意見を集約して県へ届ける取組も実施しました。

調査対象者数、実施時期

意見表明	計
● 県内公立小学校（7校）	375名
● 県内公立・私立中学校（8校）	697名
● 高校生	
① 高校生代表者会議	112名
② 県内私立高校	44名
③ 県内通信制高校	20名
● 大学生	
① 大学生を主体とした意見表明モデル事業 県内2大学（沖縄国際大学、沖縄大学）	51名
② 大学生によるフィールドワーク 参加大学生74名 意見表明のこども	436名
実施時期	令和6年5月～7月

問1 あなたの夢（なりたい自分・興味のあること） はなんですか

(共)共通 (小)小学生 (中)中学生 (高)高校生 (大)大学生

なりたい自分

職業

- (共)資格職
・医療福祉関係（医者、獣医師、看護師、理学療法士、保育士 など）
・教師 ・弁護士 ・美容師 ・調理師
・建築士 ・飛行機の整備士 など
- (共)その他の職業
・スポーツ選手 ・YouTuber ・ネイリスト
・ゲームクリエイター ・イラストレーター
・公務員 ・政治家

理想像

- (共)自立した大人
(共)人を助ける、人の役に立てる人
(小)人気者、みんなから尊敬される人
(中)自分らしく生きる
(中)英語がペラペラ話せる自分
(高)みんなを引っ張るリーダー
(高)世界と沖縄を繋ぐようなひと
(高)仕事と趣味を両立させる
(大)いろんなことにチャレンジできる人

興味のあること・やりたいこと

- (共)スポーツ（サッカー、野球、バスケット、バレーなど）、アニメや漫画
(共)イラスト、絵を描くこと、音楽を聴くこと、歌や楽器が上手になりたい
(小)ゲーム、インターネット、世界一周、みんなの助けになる仕事
(中)プログラミング、ものづくり、美容、デザイン
(中)親の仕事を継ぐこと、進学する、友達と遊ぶ
(高)自分の趣味や長所を職業にしたい、志望校に受かること、県外で就職する、沖縄の歴史や文化
(大)世界中を飛び回る、海外で活躍する、好きなことを表現する、起業すること、ブランドを作る

色んな声が
多かった！

問2 あなたの夢（なりたい自分・興味のあること） のためにがんばっていることはなんですか

勉強

- (共)受験勉強、日々の学習 (小)宿題を毎日する
(中)CAのために英会話 (高)検定、資格取得
(大)語学勉強、国家資格、経営の勉強

調べる・知る

- (小)パソコンの使い方を本などで、調べる
(小)ゲームの研究、いろんな国の歴史を学ぶ
(小)お母さんが保育士なのでどのように教えてたりしてるかを観察している
(中)インターネットで調べたり、ニュースを見て世界の変化を理解する
(高)いろいろな職業を見る
(高)必要な資格を調べ進学先を探している
(大)自分の事を知る！

学校生活

- (小)下級生と仲良くする
(小・中)授業をちゃんと受ける、取り組む
(中)わからないことを積極的に質問する
(高)生徒会や学級委員など、多くのことを経験

練習・実践

- (共)部活、日々の練習やトレーニング
(共)絵、漫画、デッサン、
(共)メイク、ネイル、髪の毛のセット、
(小)ピアノ、ダンスとボーカル（歌）
(小)料理のお手伝い
(中)地域のクラブチームに参加
(中)日々小説を書いている
(高)ボイトレ、ギター、作詞への挑戦
(高)地域の議員と交流し若い世代の意見を伝え、地域の課題について話をする
(大)沖縄戦、基地問題の発信
(大)作詞、作曲、写真、サークル活動

自身の意識・行動

- (共)相手の話を聞き、自分の意見を伝える
(共)相手の気持ちを考え行動、発言する
人に優しく接する、笑顔で接する
(小)普段から人に優しくする みんなを笑わす
(小)常に自分ができそうなことを頑張る
(中)何事にも挑戦し、継続して取り組む
(中)自分の感情をコントロールする
(高)責任感を持って行動する
(高・大)バイトを頑張っている
(大)ボランティア

問3 夢にむかってがんばるあなたに、どんな応援（支援）があったらうれしいですか

色んな声が多かった！

精神的支援

- (共)自分のことを理解して応援してほしい
- (共)否定せず、認めてほしい。見守ってほしい
- (共)こどもの意見を聞いてほしい
- (共)自分の事を褒めて欲しい
- (小)失敗したり諦めようとしたときに助けてくれる人
- (小)間違ったら違うよって教えてくれる人
- (中)優しく相談事を聞いてくれる人
- (高)自分を理解して、厳しく指導してくれる人
- (大)一緒にやってくれる仲間

経済的支援

- (共)進学のための奨学金、進学費用の援助
- (共)授業料の無償化、資格試験、受験費用の補助
- (小)教科書やノートの購入費、給食費の支援
- (中)塾の費用、長期休暇時の電気代、昼食代の補助
- (小・中)本島・県外の大会へ行くときの費用
- (高)留学のための奨学金、就職のための給付金
- (大)生活資金・交通費の支援
- (大)大学生の学割の増加や最低賃金のUP

学校

- (小)学校の設備をより良く（体育館へクーラーなど）
- (小・中) 外国人講師による英語の授業
- (高)学校へのバスをもっと出してほしい

やりたいことができる環境

- (共)勉強に集中できる場所
- 勉強を教えてくれる人
- (小)スポーツやダンスなどの練習場所
- (小・中)こどもが楽しく利用できる場所や施設
- (小・中)リラックスできる、一人になれる場所
- (中・高)意見を発表す機会、若者会議の開催
- (高)沖縄だからこその外国人との交流
- (高)たくさんの人との関わり、成長できる場
- (大)資格取得のための無料講座
- (大)欲しい情報がもらえる

進路・キャリア支援

- (共)職場体験、見学の機会
- (共)目指す職業の方や同じ目標の方との交流
- (中)進路の悩みなどを気軽に相談できる環境
- (高)県外の学校の説明 就職のサポート

その他

- (小)鉄道が欲しい、自分で頑張りたい
- (中)広場などにゴミ箱、街灯、病院を増やして
- (高)親を説得してほしい
- (高)学校の資料請求の無償化
- (大)おいしいご飯を作ってくれる

問4 あなたが住んでいるまち（社会）をよくするために、あなたができることはなんですか

環境への配慮

- (共)ゴミ拾い、ゴミの分別、リサイクル、削減
- (共)ポイ捨てをしない
- (小)環境のことを考えて行動する
- (中)いろんな生物、環境への理解を深める

社会貢献

- (共)ボランティア（ビーチクリーンや募金、こども食堂や身体障害者、高齢者の手伝いなど）
- (小・中)SDGsに取り組む

地域との関わり

- (共)地域のお手伝い、地域の人と交流
- (共)地域のイベントへ参加、文化伝承、地域活性化
- (共)地域について知り、伝える
- (高)地域で買い物して、地域の経済を回す
- (大)地元でバイトする

その他

- (小)家での手伝い、学校での掃除当番や朝の活動がんばっている
- (大)勉強する、企業連携、出来ることを探す

人との関わり

- (共)自分から進んであいさつし、周りを明るく元気にする
- (共)「ありがとう」など思いやりのある言葉を使い、優しく接する
- (共)コミュニケーションをとり、交流し、協力する
- (小)すぐ否定から入らず、まずはこんな考えもあると心に受け止める
- (小)身近な人が悪いことをしていたら注意する
- (小・中)友達の悩みを聞いてあげる、相談にのる、困っている人を助ける
- (中)いじめを見て見ぬふりしない
- (中)様々な生き方を理解し人や自分の夢を尊重する
- (大)子ども、おじー、おばーと関わる機会

社会参加

- (共) 政治や社会情勢を知り選挙に行く
- (中・高・大)地域や社会のニュースや情報を知り、課題を知り、解決方法を考え、行動する。
- (小・中)自分の意見を言う、ルールを守る
- (大)沖縄の魅力的な場所、文化をSNSで発信
- (大)皆が集まれるイベントを作る。子供と大人が遊べる施設を造る

問5 その他、おとなに伝えたいことや自分が思っていることがあれば、自由に書いてください

暮らしの環境

- (小・中)ゴミを道や海に捨てないで
- (小)離島にも大学が欲しい
- (中)地域のこどもが無料で乗れるバス

学校・教育

- (小・中・高)理由が説明できない校則は無くしてほしい
- (小)休み時間や授業時間を減らして欲しい
- (小)いじめに悩む人や不登校の人も学校に行きやすくなる環境を作してほしい
- (小・中)夏休みを短くしないでほしい
- (中)もっと生徒の意見に耳を傾けてほしい
- (高)進路や悩みを気軽に相談できるようにして
- (大)小・中学校の時から、県外進学、就職、留学などの話を聞く機会や情報がほしい

やりたいこと・自分のこと

- (小)自分が困っていることを伝えたい
- (中)自分のしたいことがわからない

大人への感謝

- (共)いつもありがとう、お疲れ様です
- (小)いつも仕事を頑張っていて凄い
- (大)税金納めてくれてありがとう

大人への要望・不満

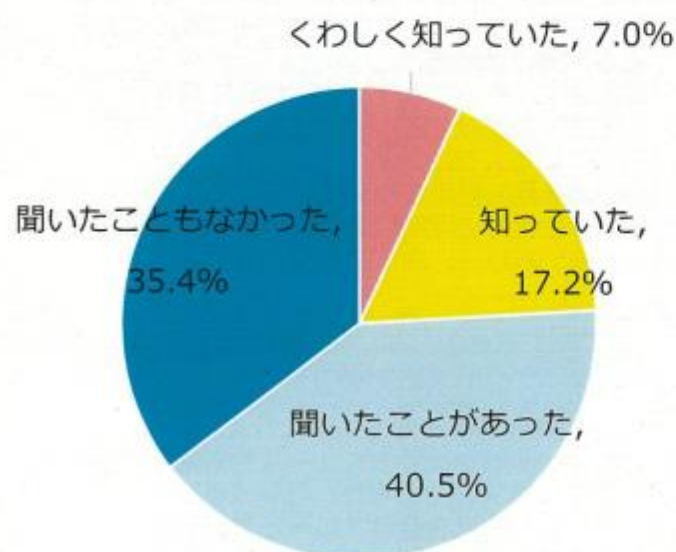
- (共)こどもの話を最後まで聞いて、意見を尊重してほしい、こどものことを理解して、信じてほしい
- (共)大人の意見や価値観を押し付けたくないでほしい
- (小)こどもの権利を知って、大人と子供の立場を同じにしてほしい
- (小)タバコを吸わないで、暴言や暴力は辞めて
- (中)ダメと言うだけでなく理由を説明してほしい
- (中)イラついててもこどもにあたらなくて欲しい
- (高)もっと若者に厳しくしてほしい
- (高)政治について自分ごととしてもっと真面目に考えてほしい
- (大)若者の夢を応援してほしい、否定しないでほしい
- (大)若者がやっている活動に協力してほしい

社会・制度

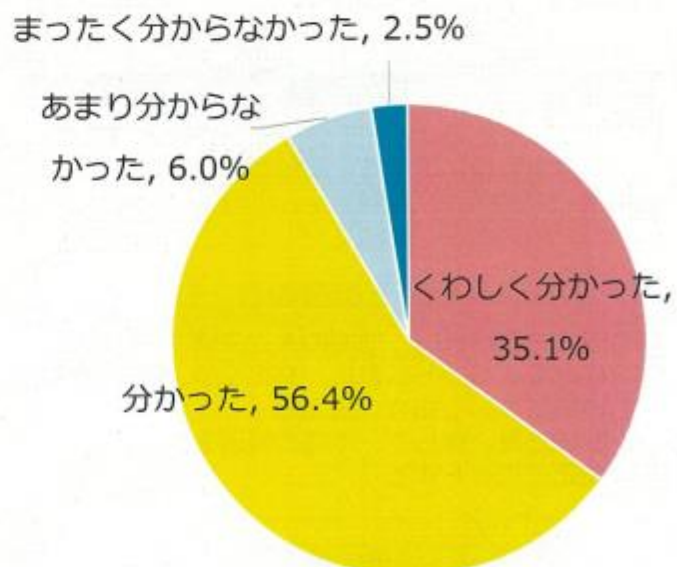
- (小)こどもが自由に使える公共施設(児童館など)を増やして欲しい
- (小)戦争がない平和な世界
- (中)こどもが安心できる社会を作してほしい
- (中)物価を下げ税金を減らし生活に余裕ある社会
- (高)教育現場にもっとお金をかけて欲しい
- (高)外的要因で自分の夢を諦めなくてもいい社会

問6 & 問7 「子どもの権利」について

問6 あなたは今回、動画をみる前から「子どもの権利」について知っていましたか (n=1136)



問7 「子どもの権利」について、説明動画をみたり、アンケートに答えることで分かるようになりましたか (n=1136)



※問6、問7は、本問を設けていない以下を除いた数で集計している
 ①高校生の高校生代表者会議 112名
 ②大学生を主体とした意見表明モデル事業 51名
 ③大学生によるフィールドワーク 436名

アンケート：沖縄県へこども・若者の声を届けよう！（〇〇小学校）



おきなわけん 沖縄県では、みなさんの声を政策（社会の仕組み）にいかしていくために声・メッセージを集めています。多くの声を聞かせてください。ひだりのQRコードまたは、したのURLから回答をおねがいします！

（回答フォーム：<https://forms.gle/euJV2csJuoJgM4ES6>）

【事前学習動画】

- ① やさしい版『おしえて！こども基本法』
（出典：こども家庭庁 youtube）
- ② やさしい版『こどもまんなかこども家庭庁』
（出典：こども家庭庁 youtube）
- ③ 知ろう！子どもの権利条約とフリー・ザ・チルドレン
（出典：Free the Children Japan youtube）

①の動画
（4分）



https://youtu.be/NMw-jgACFLM?si=GzMyNrkp87_T5FYv

②の動画
（3分半）



https://youtu.be/c_rEkLnYAE?si=KFtwYoydyNTWsdOv

③の動画
（6分）



<https://youtu.be/pclZerlvH8k?si=A4jF3BDjojaxaEBy>

【アンケート】

1. あなたの夢（なりたい自分・興味のあること）はなんですか？
 2. あなたの夢（なりたい自分・興味のあること）のためにがんばっていることはなんですか？
 3. 夢にむかってがんばるあなたに、どんな応援（支援）があったらうれしいですか？
（例）進学のための奨学金（しょうがくきん）じぶんを理解してくれるひとがいてほしい など
 4. あなたが住んでいるまち（社会）をよくするために、あなたができることはなんですか？
 5. その他、おとなに伝えたいことやじぶんが思っていることがあれば、じゆうに書いてください！
 6. あなたは今回、動画を見る前から「子どもの権利」について、知っていましたか？
□くわしく知っていた □知っていた □聞いたことがあった □聞いたこともなかった
 7. 「子どもの権利」について、説明動画をみたり、アンケートに答えることで分かるようになりましたか？
□くわしく分かった □分かった □あまり分からなかった □まったく分からなかった
- あなたの声をとどけてくれてありがとうございます。

沖縄県こども計画（仮称） 策定に係る県民アンケート

（若者・保護者）

2024年11月
沖縄県こども未来部こども若者政策課

調査の概要

調査の目的

県こども計画（仮称）の策定にあたり、計画の対象となるこども・若者及び保護者の意見をこども計画へ反映させるための取組として、県民アンケートを実施しました。

調査方法

調査は、WEB調査にて実施しました。
アンケートの周知にあたっては、沖縄県のHP等での広報や、関係団体への協力依頼などを行いました。

※県立学校日本語支援事業による保護者からの意見を問10へ追加しました。

実施期間

令和6年7月30日～令和6年8月31日

調査対象者

沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳のこどもを持つ保護者

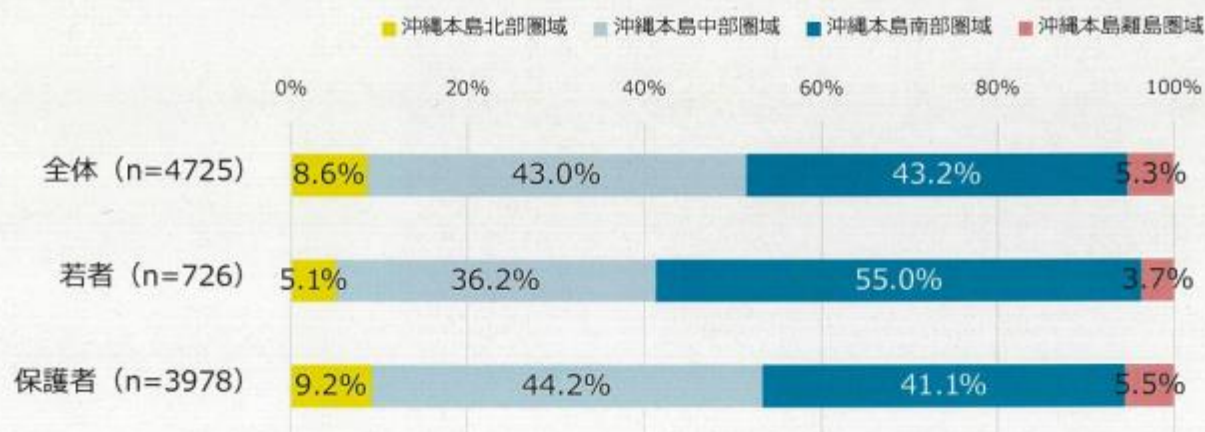
回答者数

4725件（若者：726件、保護者：3978件）

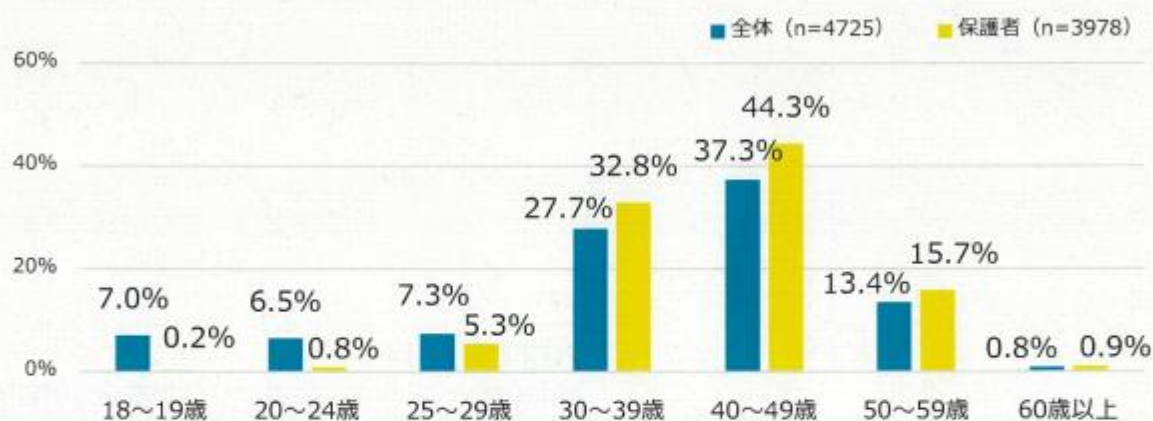
※年齢区分別の集計は、18～29歳でお子さんがいないと回答した方を「若者」、お子さんがいると回答した方を「保護者」としています。お子さんがいるかどうかについて「答えたくない」と回答した方は、世代別では集計に入れておりません。



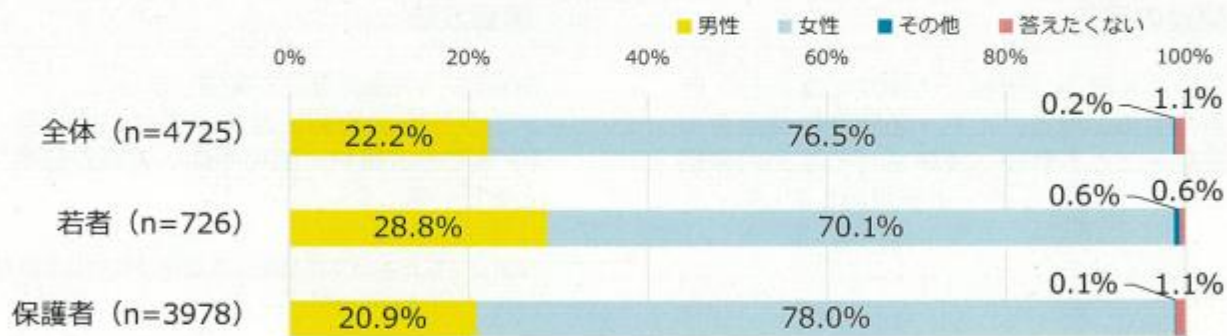
問1 あなたの住んでいる圏域を教えてください



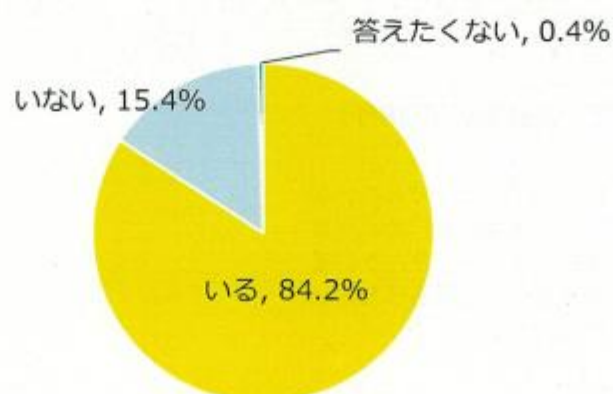
問2 あなたの年齢を教えてください



問3 あなたの性別を教えてください

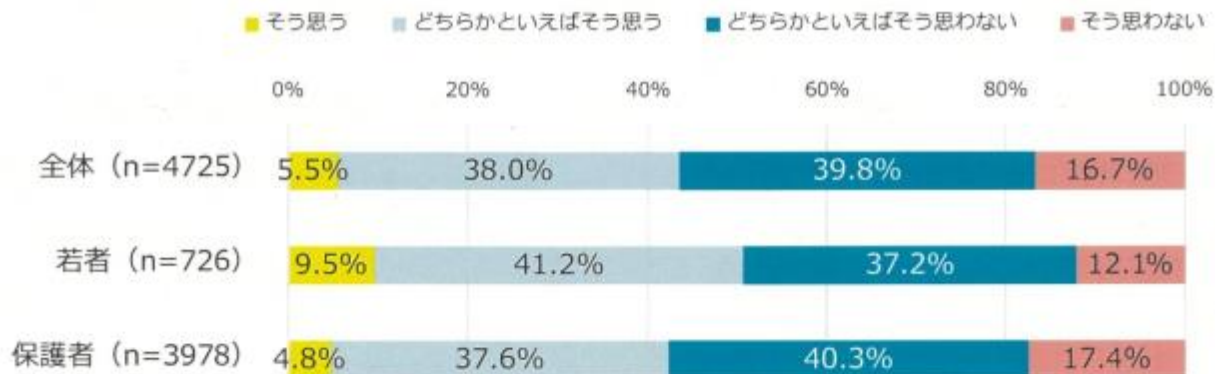


問4 あなたにお子さんはいますか (n=4725)



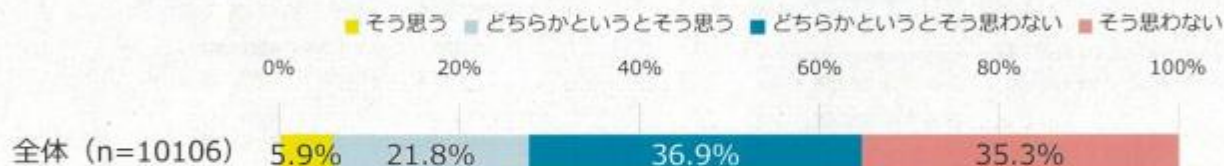
問6 あなたは沖縄の社会が

「結婚、妊娠、こども、子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思いますか

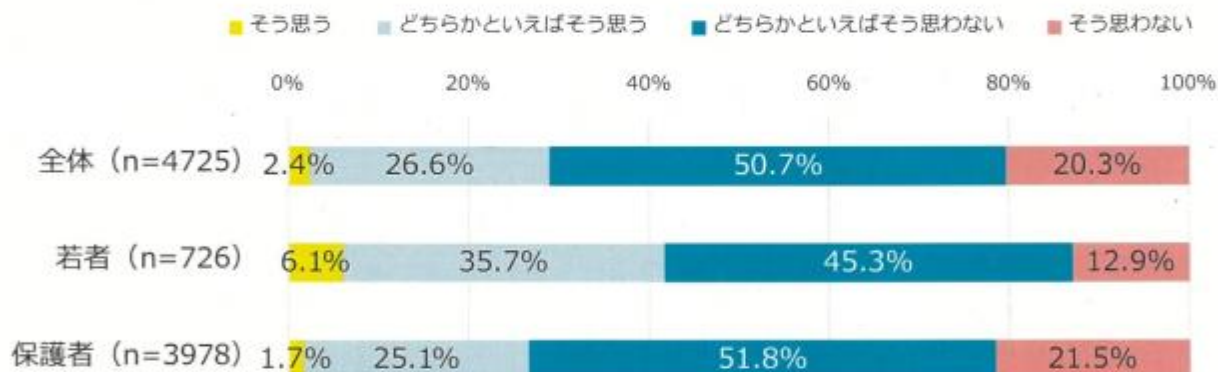


【参考】あなたは日本の社会が、結婚、妊娠、こども、子育てに温かい社会の実現に向かっていると考えますか (n=10106)
(こども家庭庁 (2023年)「令和5年度 こども政策の推進に関する意識調査 報告書」)

※16～49歳の未婚及び既婚の男女を調査対象としている



問7 あなたは沖縄の社会が「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思いますか

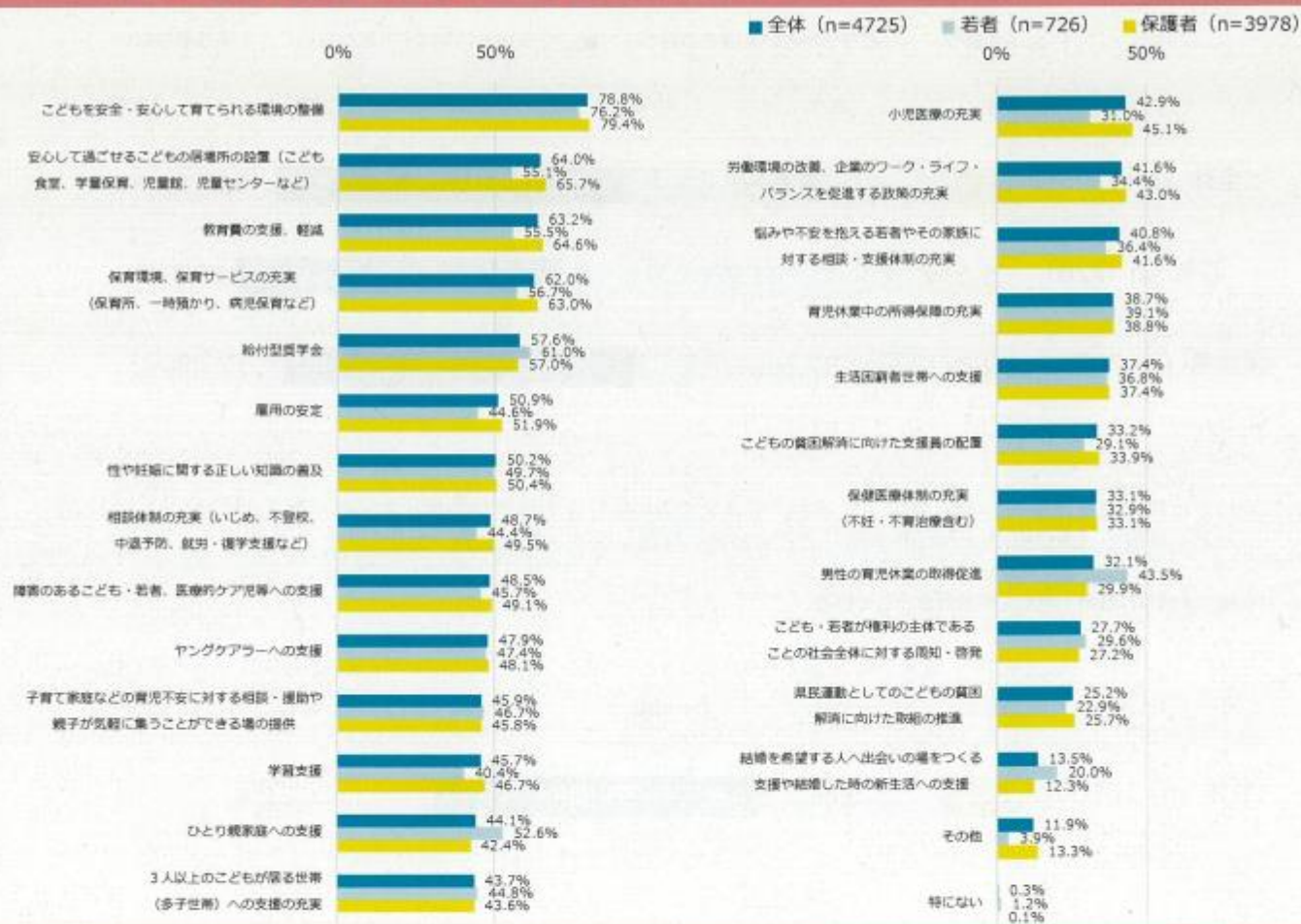


【参考】あなたは、今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると考えますか (n=10106)
(こども家庭庁 (2023年)「令和5年度 こども政策の推進に関する意識調査 報告書」)

※16～49歳の未婚及び既婚の男女を調査対象としている



問8 あなたは沖縄県が目指す「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するための施策として何が重要だと考えますか（複数選択）



問9 問8で選択した中から、とくに重要だと考えるものを3つまで選んでください（複数選択）

年齢区分別TOP 10

★TOP 5までは、順位に違いはあるものの、項目は同じ。
若者の6、9位は保護者になく、保護者の6、8位は若者がない。

順位	項目	若者 (n=726)	項目	保護者 (n=3978)
1	こどもを安全・安心して育てられる環境の整備	76.2%	こどもを安全・安心して育てられる環境の整備	79.4%
2	給付型奨学金	61.0%	安心して過ごせるこどもの居場所の設置（こども食堂、学童保育、児童館、児童センターなど）	65.7%
3	保育環境、保育サービスの充実（保育所、一時預かり、病児保育など）	56.7%	教育費の支援、軽減	64.6%
4	教育費の支援、軽減	55.5%	保育環境、保育サービスの充実（保育所、一時預かり、病児保育など）	63.0%
5	安心して過ごせるこどもの居場所の設置（こども食堂、学童保育、児童館、児童センターなど）	55.1%	給付型奨学金	57.0%
6	ひとり親家庭への支援	52.6%	雇用の安定	51.9%
7	性や妊娠に関する正しい知識の普及	49.7%	性や妊娠に関する正しい知識の普及	50.4%
8	ヤングケアラーへの支援	47.4%	相談体制の充実（いじめ、不登校、中退予防、就労・復学支援など）	49.5%
9	子育て家庭などの育児不安に対する相談・援助や親子が気軽に集うことができる場の提供	46.7%	障害のあるこども・若者、医療的ケア児等への支援	49.1%
10	障害のあるこども・若者、医療的ケア児等への支援	45.7%	ヤングケアラーへの支援	48.1%

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

こどもの権利や誰一人取り残さないこどもまんなか社会などについて

- こども達が何に困っていて、何が足りていないのか、こども達と一緒に考えて支援していける社会にしていきたい（若者）
- 「こどもたちの声を聞く」場や機会をきちんと設けて、その声を行政に活かす取組を持続していくことが必要（保護者）

保護者支援について

- こども達がいきいきと暮らすために、こどもの保護者に対する支援も充実させる必要がある。同様のアンケートは様々な形で取られていると思うが、その結果がどの取組みに活かされているのか、県民が広く分かるようにしてほしい。（保護者）
- こどもに対する対症療法的な施策ではなく、親の状態を含めて沖縄県の抜本的な改革をしていかないと「こどもまんなか社会」の実現できないと思う。その視点からソーシャルワーカー等の充実は、比較的すぐにできる施策ではないか。（若者）

社会全体に対する周知・啓発など

- 「こどもまんなか社会」とはどんな社会が知らなかった。具体的な意味を含めて広く周知して欲しい。（保護者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

こどもを安全・安心して育てられる環境の整備

- 日中、暑すぎて外の遊具で遊ぶことが難しいので室内遊具等遊べるところが欲しい。（保護者）
- 全国的にこどもが減り、社会全体が大人のためのものになっていて、こどもが社会の中で迷惑な存在になってきて、子育てに向かない社会に向かっている。こどもを迷惑と思わない、思わせない社会作りをすることで、子育てしやすくなると思う。（保護者）

障がいのあるこども・若者、医療的ケア児当への支援

- 自閉症のこどもの保護者です。保育園までは、1人に1人ずつ補助の先生がいたが、小学校からはそれがありません。普通の子と障害がある子が一緒に学ぶ場がある事でお互いの成長に繋がっています。普通の小学校と特別支援学校のように障害者を切り離すのではなく、学校を併設する、補助の先生を増やして普通学校でもっと障害がある子を受け入れるなど、普通の子たちとももっと交流できる場を設けて欲しい。（保護者）
- こどもに障害があるため就労先を見つけるのが難しい。また、親のどちらかはこどもの介護をしなければならず、デイサービスなど利用しても時間の制約がある。障害のある人もない人も安心して暮らせる社会になってほしい。（保護者）

保育環境、保育サービスの充実

- 保育園探し、学童保育などこどもの預け先を探すのに苦労しました。小学校低学年までは無条件で受け入れられるよう、子育てしやすい環境を行政が積極的に作ってください。（保護者）
- 夜間や遅い時間帯まで働く保護者がこどもを一人っきりにしないように、夜間保育を実施する保育所やこどもを一時的に預かる場所を設置するほうがよい。（若者）
- 子育ての為に収入が必要で、働く保障の為に保育園の整備は喫緊の課題。保育士の所得向上や、労働環境の整備を早急にお願したい。（保護者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

保険医療体制の充実／小児医療の充実

- 不妊治療が一部保険適用になったが、まだまだ不十分。（保護者）
- 現在の小児医療の状況は非常に悪い。かかりつけ医の小児科病院は、事前予約や当日予約など早いもの勝ちでしか受診出来ず、救急診療では長時間の待ち時間の後、簡素的な診察しか受けられず「調子が悪ければ、日中かかりつけ医を受診してください」となる。このような「小児科迷子状態」に悩みを抱く保護者は少なくないと思う。（保護者）

安心して過ごせるこどもの居場所の設置

- 児童館のない地域もたくさんあるので、昔のように放課後の学校がこどもの居場所となってほしい。管理責任の問題もあると聞くが、教育よりも福祉の視点で受け入れてほしい。（保護者）
- こどもだけでなく、保護者が集える居場所作りも必要。生活困窮者や子育てに困っている潜在的な親子もファミリーサポートや行政、児童相談所と一緒に情報共有して全体で見守る取組が必要。（保護者）

学習支援

- 所得格差による、学びの格差がないように無料学習塾の取組を自治体などで行ってほしい。（保護者）
- 実習室などの勉強出来るスペースを増やして欲しい。兄弟が多い家庭や自宅で学習に適した環境が持てない学生の多くに必要とされていると思う。（若者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

奨学金／教育費の支援・軽減

- 給付型でも貸与型でも、奨学金がもっと広く活用できるようになってほしい。（若者）
- 進学のための支援策として、給付型奨学金等があることを中学生など早い時期から周知し、こども達が進路を諦めないようにしてほしい。（保護者）
- 就学援助の範囲の拡大。（保護者）
- 給食費や必要な物の無償化や軽減など現物支給をして欲しい。多子家庭でも、保育園などの減額や無償は上の子と下の子の年齢が離れると対象にならない事も多く、そういった状況も含めて検討して欲しい。（保護者）

教員の処遇改善

- 学校が安心安全で行きたい場所になるため、教職員が個々に寄り添えるよう十分な人を配置する必要がある。小中高30人学級にして、生徒理解ができる環境を作って欲しい。（保護者）

不登校／フリースクール

- 群星寮は、公立高校だけでなく、通信制高校に通う生徒も利用できるよう改善して欲しい。（保護者）
- こどもの不登校支援は居場所まで車で移動が必要で、保護者の対応が不可欠となっており、仕事を休んで登下校や付き添いをせざるを得ず保護者の負担が大きい。（保護者）
- 公立学校だけでなく、フリースクールの学費も支援して欲しい。公立学校以外の場所で自分の輝ける場所を見つけられる事は、誰一人取り残さない事につながると思うが、実際はフリースクールは親の負担が大きすぎて選択肢をあげられずにひきこもりになる事は少なくないと思う。（保護者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

労働

- 親の雇用安定が必要不可欠、正規雇用を増やしていただきたい。教育現場も正規雇用を増やして、担任の複数配置等、教育の充実を実現していただきたい。（保護者）
- 労働者の労働環境を整えて、男女共に育児休業を取得しやすい環境にすること、労働時間を調整、リモートワークを導入、時間休など、柔軟な働き方ができると育児がしやすくなると思います。（保護者）
- 育児休業中の手当が少なく、こどもが2人以上いると節約優先となり、遊びに連れて行くことも食に関しても、貧しい思いをさせている。育児休業中は扶養手当も無く、こどもを産む人数分、貧困さが増すような状況。子育て給付金の配布や市内在住限定で無料で遊べる室内施設があると助かる。（保護者）

収入

- 沖縄県民の所得向上が必要。こどもにはいろんな経験や体験などをさせてあげたいが、経済的問題で諦めてしまう。（保護者）
- 物価が高いのに給与が少ないのをどうにかして欲しい。（保護者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

支援

育児不安に対する相談・援助や気軽に集うことができる場の提供

- 産後うつ母親のフォローとケアをしてほしい。家族だけでなく、地域の助けも借りたい。（保護者）
- 産前から、子育て支援センターなどの活用や周知を徹底して欲しい。産後はとてもツライ時期があり、役所に子育て支援の居場所がないか問い合わせたが、詳しい回答が得られず悲しかった。その後、子育て支援センターの存在を知り、利用することで安心することができた。（保護者）

いじめや不登校等、様々な悩みや不安を抱える若者や家族に対する相談・支援体制の充実

- こどもが不登校になり、メンタルもひどくなり、色々なところへ相談したりカウンセリングが受けられるところを探したりしたが、どこも予約がいっぱいで気軽に相談できなかった。18歳の今も引きこもりで、取り残された感じがする。親も精神的にいっぱい입니다。気軽に相談できる場所がほしかった。（保護者）
- こどもが不登校の時期があり、支援等を受けるにも、診断書をもらい役所へ申請するまでは無料ではなく、有料で学校以外の場所を探した。申請が下りるにも何をするにも時間と手間がかかり過ぎる。保護者側の負担軽減が子育てに直に繋がるので、もう少し柔軟な対応を各所でできたら良いと思う（保護者）

支援体制

- こどもの居場所支援は助成金頼みで資金が足りない、継続が大変と聞きます。こども支援の予算が不安なく支援団体が継続して活動できるよう、予算が十分に確保されると良い。（保護者）
- 勇気をだして相談に来た人を必ず支援に繋げるよう、相談窓口の人員を十分に配置して欲しい。（保護者）
- 子どもを取り残さないために、まずは保護者を取り残さないこと。保護者が相談しやすい環境づくり、通いやすい支援施設の設置、生活保護などの適用基準を検討することが必要だと思う。（若者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

支援

周知

- こども達のために具体的にどのような支援を行っているか、県民にわかるように周知してほしい。（保護者）

住まい

- シングルになった家庭の新生活スタート支援（同じ学区内の団地への入居、生活家電の取得支援など）がたくさんあれば良いと思う。（保護者）
- 沖縄県は家賃価格が上がっているが、給料が安定していない。まずは家賃補助等の生活基盤の援助を行い、こども達の生活環境から整えていくのも良いと思う。（保護者）

多子世帯

- 共働きである程度の世帯収入はあるが、こどもは多胎児で育児や進学の家計負担が同時に2倍のしかかっており、決して生活にゆとりはない。中間所得層の世帯は、経済的支援はほぼ受けられずにいる。さまざまな家庭に対して、平等に恩恵が受けられるよう、特にこどもの学費に関しては所得制限を撤廃して支援できれば良いと思う。（例：小、中、高の制服や高校の教科書の無償化など）（保護者）

ひとり親

- 2人の子を育てるシングルマザーです。収入による制限で児童扶養手当の適応はないが、子育てへの出費は共働きの家庭と変わらず、またひとり親だからこその出費もある。児童扶養手当だけでなくこども手当も、制度の再検討をしていただきたい。（保護者）
- 離婚後、養育費を払わない相手への請求や口座の差し押さえを行うなど、現状を変えて欲しい。（保護者）

性や妊娠に関する正しい知識の普及

- 望まない妊娠を避けるための性教育の充実や、こどもを社会全体で育てる体制が必要。（若者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

支援

貧困

- 「経済格差」が子どもの「学習格差」や「経験格差」に繋がっている。経済的格差があっても、学習や経験はしっかりと提供できる、そんな社会の仕組みが必要。（保護者）
- 貧困の連鎖を止めることは個人では難しい。現金給付や減税を行い、必要なサービス（家事代行、教育にかかる費用の無償化など）が誰でも受けられるような社会を行政が主となって構築するべき。（保護者）

経済的支援

- 就学援助や給付金奨学金なども、保護世帯や非課税世帯、多子世帯のみではなく、全てのこどもが対象となるよう充実を図って欲しい。（保護者）
- 非課税世帯や生活窮困者だけではなく、中間層もとても苦しい状況です。貧困から抜け出したい一心でひとり親で昼夜ダブルワークで働き、所得は上がりましたが非課税でなくなったことで、支援対象からも外れました。児童扶養手当も減額になり、非課税の時と同じくらい苦しい生活をしています。所得だけで判断せず、本当に困ってる人、頑張っている人の支援もして欲しい。（保護者）

外国ルーツのこども達やその家族への支援

- 日本語の読み書きを練習させて欲しい。本人が理解しやすいように、難しい文章をかみ砕いた日本語に直して説明して欲しい。（保護者）
- 日本語だけでなく、一緒に日本の文化や習慣も教えて欲しい。（保護者）
- 小学5年生の弟の方がより日本語支援を必要としているが、学校が動いてくれない。（保護者）
- 日本語が出来ないため、パートナーからのDV関係などを相談する機関やケア出来る人が居ない。（保護者）

問10 あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2581件）

政治・経済

- あらゆるプランニングや政策決定の場へ、女性や障がい者など多様な人の参画を進めること。（若者）
- 今まで、必要だと思う事に色んな人が声を上げてきたはずだが、それを拾えない県に意見を言っても何も変わらないと思う。本当に変えたいのなら、政治、政治家から変えなければ何も変わらない。（保護者）
- 無料の遊び場や、児童館、給食費援助など、もっとこども達の為に予算を使ってほしい。（保護者）
- もっと日本全体の経済状況が良くなり、大人達がこどもと向き合える時間が増えたらこども達も生き生き過ごせるのではないかなと思う。今は共働きで必死に働いて子育てしている印象。（保護者）
- 安定した雇用も大事ですが、所得を上げるための努力と工夫を、行政、企業、個人がこれまで以上に行うこと。そして、未来を担う子どもたちには平等に質の高い教育を受けられる環境を整備することが大事だと思う。所得や体験格差が広がり過ぎてる。（保護者）

問11 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2202件）

地域との関わり

こどもとの関わり

- 身近にいる娘の友人、知人に、居場所を提供するなど出来る限りの支援を心がけています。（保護者）

声かけ

- 普段生活している中で、気になる子に声をかけたり、困っている様子の保護者にも声をかけるなど、直接的な交流を大切にしていきたいです。社会的に支援体制の充実を図るとともに、個人単位での困り感や辛さの軽減を図ることが大切だと思っています。（保護者）

行事・活動等

- こども会に積極的に参加、寄付し、子どもたちが来なくなるイベントを無料で企画開催しています。地域の子供会にも援助があると嬉しいです。（保護者）
- 不登校の親の会運営しています。ママたちの笑顔が家庭を明るく前向きにするとと思っています。まず、ママのサポートそれから子ども、または同時にできるように子ども第三の居場所で活動していきます。（保護者）

関わり

- 自分の周りの人を褒め、無力ではないことを伝えていく。一人ひとりの自己肯定感が上がれば、少しずつ、プラスに動く要因になると思う。（若者）
- 私は団地に住んでおり周りに助けが必要と思う子は多い。団地の管理人をしてこどもの話が入ってきやすい状況を作っている。今できる事は同じ立場にしながら乗り越えた経験を伝えていくこと。毎日の会話で絆をつくりながら悩んでいる事を解決していけるようにしていく！（保護者）

問11 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2202件）

社会参加

意見表明

- 学童支援員をしているが、利用料を払えなくて学童に通えない子がとても多い。ひとり親、非課税世帯の利用料減免措置はあるが、更に貧困の世帯の子は放課後～夕方誰もいなくなる時間まで学校で過ごすこどもがいるのが現状（保護者）

アンケートで意見表明

- アンケートに答えたり、何か問題があった際は、どうあれば良いかを考えること。このようなアンケートで意見を言える機会を作り、みんなの意見をちゃんと聞いて欲しいです。（保護者）

選挙に行く

- 今の段階で私ができる行動は「然るべき政党・人物への投票」しか思い浮かびません。（若者）
- 子どもに対する政策をきちんと公約に掲げて実践してくれる方を選挙で選ぶこと。現場の声を聞いて本当に必要な所に公費を使っていただけの方を見極めること。（保護者）

納税

- 必死に納税し世の中にお金がまわるよう死ぬまで働き続けることです。その税で子ども達の将来が少しでも負担減になれば嬉しい。（保護者）

問11 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2202件）

社会貢献

寄付・ボランティア

- 私自身もひとり親世帯で育ち、公立でも質の高い教育を受けられたことが貧困から抜け出せた要因の1つだと思う。英語が得意になったことで様々な学びの機会を得られたので、地域で英語を教えるボランティア等やってみたい。（若者）
- 仲間と年に一回、模合の中から未来チケットの購入やフードバンクへの支援などを行っています。（保護者）
- 地域活動での子供達の見守りやボランティア活動をできる範囲でしたいと考えているが、何処に連絡すればいいのかわからなかったり、その応募ハードルが高くて参加を躊躇してしまっている。もっと気軽に参加できるようにになれば地域の人達も加わり易いのかなと思う。（保護者）

仕事を通して貢献

- 親世代の所得向上の為に雇用側として取り組んで行く。（保護者）
- 養護教諭として早期の性教育について取り組んでいる。教育者として、こども達の家庭を変えることは難しいが、私ができることを今後も続けていく。（保護者）
- 障害者に関わる仕事をしており、自分の子どもも障害児です。障害への偏見や差別意識が根強い地域なので、仕事の中で課題解消に取り組んでいます。（保護者）

仕事を通して貢献したい（若者）

- 将来保育士として、親子揃って安心して居心地が良いと感じてもらえる保育を提供したい。（若者）
- 教員になった時、こども達が安心して様々な体験、経験ができるよう、たくさん勉強したい。（若者）

問11 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2202件）

生活・仕事

生活

- 自分を大切にすること。こどもを大切にするためには、まずは自分に余裕がないといけない。（保護者）
- 頑張って努力する大人の姿をこども達に見せる事。（保護者）
- 将来自分の家庭を持った時、責任を持って子育てができるよう、結婚する人を慎重に選び、自分自身でも生活ができるよう経済的な準備も行う。実際、就職の時は、産休育休の取りやすさ、仕事復帰のしやすさを優先した。（若者）

仕事

- 労働環境改善のための業務効率化及び、突発的なお休みを取る同僚をフォローできる環境づくり。（保護者）
- 職場の8割が非正規雇用の状況で、私自身、20年かけて正規になった。まずは職場の非正規職員を無期転換可能とし、その後は無期雇用職員及びパートの正社員化を経営者に訴え続けている。すでに声を上げて3年経つが、無期転換すら実現出来ずにいる。（保護者）
- こどもが大学への進学を希望するならその機会を与えてあげたいが、非正規社員で給料も上がらない、いつ首になるか不安と共に生活している。年齢を増しても安心して働ける環境になってほしい。（保護者）

家族

子育て

- 自身のこどもを社会で自立できるまで育てること。（保護者）
- 里親をさせて頂き5年目になる。こども達が施設ではなく家庭の中で育つ経験はとても大切だと思う。こども達が社会へ出たあと、悩んだ時や相談事がある時、実子と同様に受け皿になればと思います。（保護者）
- 私自身もこどもがいるが、日々の生活で余裕がなく、こどもと向き合えていない状態。まずは、私自身こどもと向き合う努力をしたい。（保護者）

問11 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください

一部抜粋（全回答数 2202件）

家族

家計

- 我が子の希望を叶えられるように経済力をあげる事。しかし、こどもが多いと体調不良などで仕事を休む事も多く収入が安定しないことが現実。経済力をあげると言っても個人の努力ではどうにもならないので、そのためにも支援が必要。（保護者）

日々の暮らし

- 気持ちよく余裕を持って子育てできるように、苦しい時は周りに協力を求め、無理をしないこと。（保護者）
- こどもが4人の多子世帯です。自分にできる事はこども達の希望をかなえてあげるためにお金を稼ぐこと。しかし所得は上がりず物価や光熱費も増える一方で負担ばかりが増えている。生活を安定させるのでいっぱい現実です。（保護者）
- 子育て中のお母さんたちは、出来ることは、日々努力してやっていると思う。仕事と家事の両立はとても大変です。自分の体調を管理し、収入を上げるためにダブルワークをして自分の家庭を守る。まわりが見えてくるのは、余裕が出てからに過ぎません。政治に関わる方に、こどもの置かれている環境をリアルに見てもらいたい。（保護者）

精一杯

- ひとり親で、こどもと介護が必要な親との生活でいっぱい。自身の体調ケアをおろそかにすると生活が成り立たなくなる状況。それだけで精一杯なので、地域のこども達のためにできないことが多い。（保護者）
- 自分の子どもが幸せに暮らせるようにすることで精一杯で、他の家庭のこどもの事を気にする余裕がありません。低賃金、長時間労働、物価高、色々理由はありますが本当に余裕が無い。大人に余裕があれば困っている子どもを助ける事ができるかもしれません。（保護者）
- できる事は自分のこどもを大切に育てる事で精一杯です。私と夫と共働きで正直、余裕はありません。むしろ、サポートが欲しいです。（保護者）

その他

意見

- 私ができることはすでに実行しています（挨拶をする、交通立哨をする、子どもたちに声をかける、学校等に入っの手伝い、保護者同士のつながりをつくる、保護者への声をかける等々）、行政ができることをぜひやって欲しい。行政に対しての要望のはすが、なぜ私ができることをここに書かないといけないのか不思議です。（保護者）
- まずは若者の声を聞くべき。もっと若者の声が聞こえるように工夫するべき。（若者）

難しい

- 子の居場所での見守りや、学校での放課後支援など、興味や関心はあるが、仕事をしていると協力できる時間を捻出できない。柔軟な働き方がもっと出来るようになるといいと思う。（保護者）

助けてほしい

- 社会とのつながりをもつ事。不妊治療に専念するために仕事を辞めたが、復職が難しい。子供の預け先もなく一時預かりにはお金が必要だし働けるほど預かってはくれない。結局は家にこもっていて貧困である。イライラから子供に手を出してしまう、助けて欲しい。（保護者）
- 仕事を正社員に戻ることだが、障がいと病気を持った子の通院を諦める必要があります。福祉の充実で解決に向かってほしいです。個人の力では難しいので助けて欲しい。（保護者）

沖縄県こども計画(仮称)策定 に係る県民アンケート

2024
8/31
まで

「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現のために
あなたの声を聞かせてください。 回答はこちらのQRコードから➡



【アンケートの対象者】

沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳のこどもを持つ保護者



アンケートの趣旨

沖縄県では、社会の一番の宝であるこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現を目指し、これまで取り組んできた「子どもの貧困対策」を含むこども施策を一体的に取りまとめた「沖縄県こども計画(仮称)」を策定する予定です。

その計画の策定にあたり、計画の対象となるこども・若者及び保護者の意見をこども計画へ反映させるための取組として、県民アンケートを実施しております。沖縄県のこども達の未来がより良く明るいものになるよう、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。



沖縄県



沖縄県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

沖縄県が目指す「誰一人取り残さないこどもまん

1. こどもが意見を表明し、社会に参画する機会が確保される「こどもまんなか社会」
2. すべてのこども達が生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望を持って健やかに成長していける「誰一人取り残さない優しい社会」

沖縄県の現状と課題

県民の自己像

沖縄県に生まれ、
あるいは生活できて良かったか

○「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」を合わせ、約8割の県民が沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと感じています。

出典：第11回県民意識調査（令和3年8月）

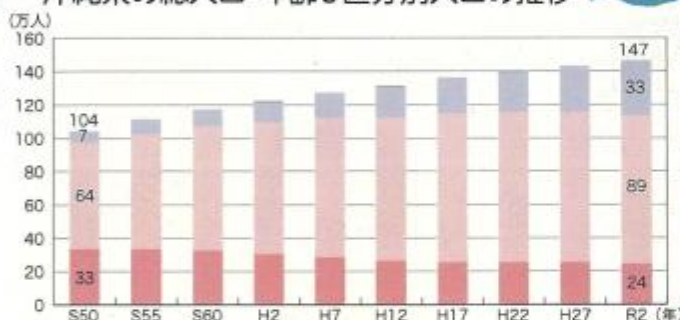
01

非常に良かったと思う まあまあ良かったと思う
どちらとも言えない あまり良かったとは思わない
良かったとは思わない 無回答



人口の現状

沖縄県の総人口・年齢3区分別人口の推移



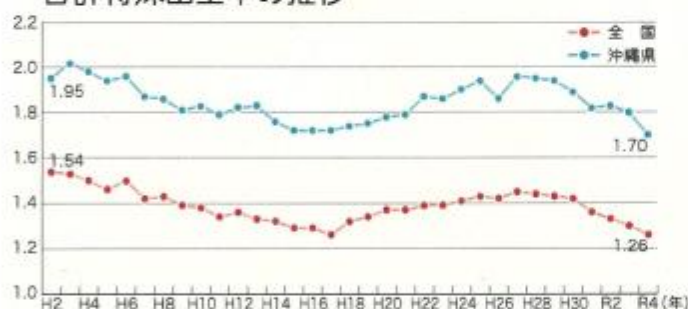
総人口に対する割合（％）

	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
14歳以下	31.4	29.4	27.4	24.7	22.1	20.2	18.7	17.8	17.3	16.6
15～64歳	61.7	62.8	64.0	65.3	66.2	65.9	65.2	64.8	63.0	60.8
65歳以上	7.0	7.8	8.6	10.0	11.7	13.9	16.1	17.4	19.7	22.6

○沖縄県の人口は、146万7千人です。
年齢別の人口構成をみると、生産年齢人口（15～64歳）の割合は、平成7年以降減少に転じ、令和2年に60.8%となっています。

出典：国勢調査（昭和50年～令和2年）

合計特殊出生率の推移

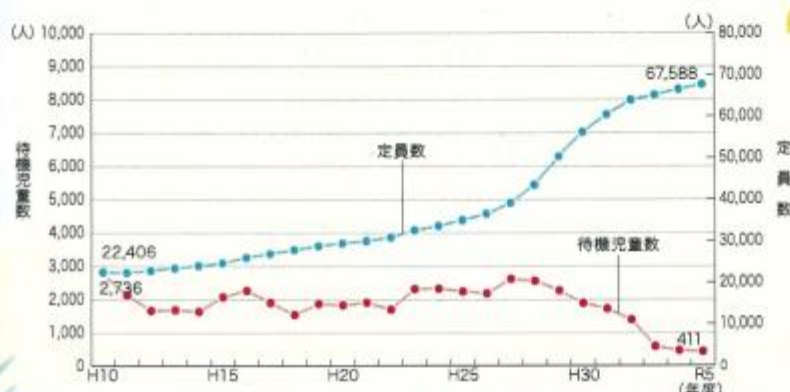


○沖縄県の合計特殊出生率は、令和4年全国平均（1.26）を大きく上回り1.70となっています。平成元年以降は、人口置換水準である2.07を下回る状況が続いています。

出典：人口動態調査（厚生労働省）

子育て環境の現状と課題

保育所等定員数、待機児童数の推移



○令和5年4月現在、保育所等数は892か所で定員数は6万7,588人です。多くの市町村において一定程度整備が進められてきた結果、待機児童数は411人と8年連続で減少しています。

出典：沖縄県こども未来部子育て支援課

なか社会」とは…



3. 将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会



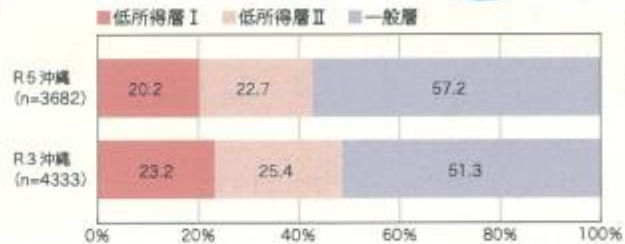
4. 安心して子どもを生み育てることができ、仕事と家庭の両立と所得向上が実現できる社会

こどもの貧困を取り巻く現状と課題

困窮世帯の割合(等価可処分所得による分類)

○沖縄県における、令和5年度の困窮世帯の割合は20.2%です。
貧困線未満となる低所得層Ⅰは、令和3年度沖縄県調査の23.2%から3.0ポイント減少しています。

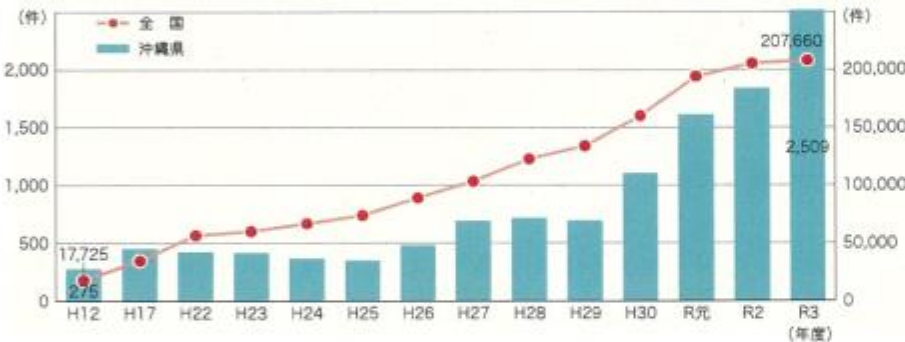
出典:令和5年度沖縄子ども調査(0~17歳)



04

こども若者を取り巻く現状と課題

児童相談所での児童虐待相談対応件数の推移

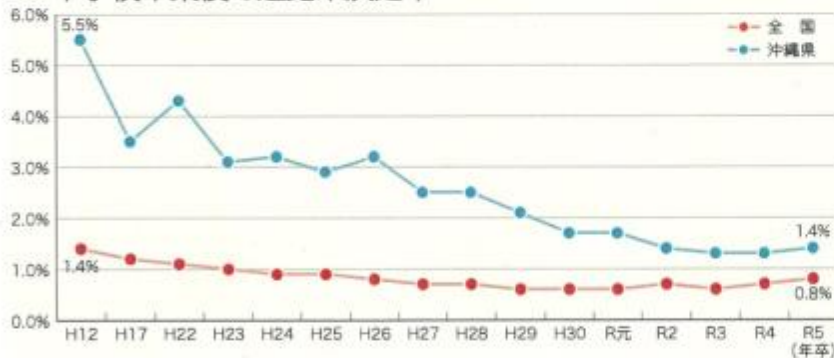


○沖縄県の児童相談所における児童虐待の相談対応件数は、児童虐待防止法が施行された平成12年度(275件)と比べ、令和3年度は約9.1倍の2,509件まで増加しています。

出典:福祉行政報告例(厚生労働省)

05

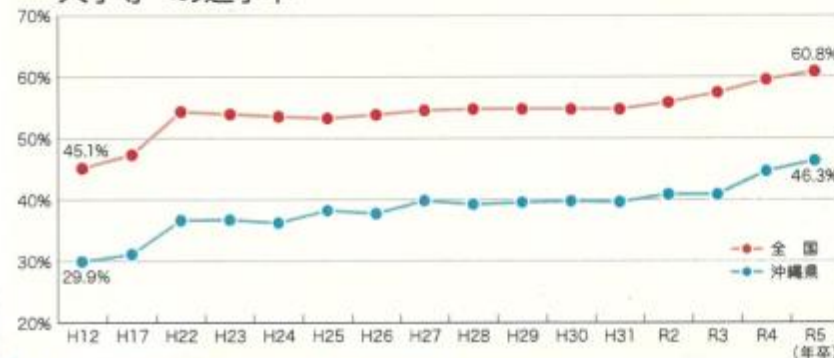
中学校卒業後の進路未決定率



○中学校卒業後の進路未決定率は、平成12年3月卒業者5.5%から、令和5年3月卒業者1.4%と減少傾向にありますが、全国の2倍近い状況です。

出典:学校基本調査(文部科学省)

大学等への進学率



○令和5年3月卒業者の大学等進学率は、全国が60.8%、沖縄県が46.3%となっており、14.5ポイントの差がありますが、進学率は上昇傾向にあります。

出典:学校基本調査(文部科学省)



沖縄県こども計画(仮称)策定に係る県民アンケート

回答はこちらの
QRコードから
2024年8月31日まで

<https://questant.jp/q/kodomoplan>



アンケートの対象者／沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳のこどもを持つ保護者

問1. あなたの住んでいる圏域を教えてください。

1. 沖縄本島北部圏域 2. 沖縄本島中部圏域 3. 沖縄本島南部圏域 4. 沖縄離島圏域

問2. あなたの年齢を教えてください。

1. 18～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳
6. 50～59歳 7. 60歳以上

問3. あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問4. あなたにお子さんはいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

問4-1. 問4でお子さんが「いる」と回答した方にお聞きます。

あなたのお子さんの人数を教えてください。

問5. あなたに兄弟姉妹はいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

問5-1. 問5で兄弟姉妹が「いる」と回答した方にお聞きます。

あなたの兄弟姉妹の人数を教えてください。(ご自身を含んだ数でお答えください)

問6. あなたは沖縄の社会が「結婚、妊娠、こども、子育てに温かい社会の実現に向かっていく」と思いますか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問7. あなたは沖縄の社会が「こどもまんなか社会の実現に向かっていく」と思いますか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたは沖縄県が目指す「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するための施策として何が重要だと考えますか。次の中から、あなたの考えに当てはまるものすべてを選んでください。

また、項目以外の意見がありましたら「その他」にお書きください。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 こども・若者が権利の主体であることの社会全体に対する周知・啓発 | 14 給付型奨学金 |
| 2 こどもを安全・安心して育てられる環境の整備 | 15 雇用の安定 |
| 3 性や妊娠に関する正しい知識の普及 | 16 結婚を希望する人へ出会いの場をつくる支援や結婚した時の新生活への支援 |
| 4 障害のあるこども・若者、医療的ケア児等への支援 | 17 生活困窮者世帯への支援 |
| 5 保育環境、保育サービスの充実(保育所、一時預かり、病児保育など) | 18 ひとり親家庭への支援 |
| 6 保健医療体制の充実(不妊・不育治療含む) | 19 労働環境の改善、企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策の充実 |
| 7 小児医療の充実 | 20 教育費の支援、軽減 |
| 8 安心して過ごせるこどもの居場所の設置
(こども食堂、学童保育、児童館、児童センターなど) | 21 男性の育児休業の取得促進 |
| 9 子育て家庭などの育児不安に対する相談・援助や親子が気軽に集うことができる場の提供 | 22 育児休業中の所得保障の充実 |
| 10 相談体制の充実(いじめ、不登校、中退予防、就労・復学支援など) | 23 3人以上のこどもが居る世帯(多子世帯)への支援の充実 |
| 11 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談・支援体制の充実 | 24 こどもの貧困解消に向けた支援員の配置 |
| 12 ヤングケアラーへの支援 | 25 県民運動としてのこどもの貧困解消に向けた取組の推進 |
| 13 学習支援 | 26 その他() |
| | 27 特になし |

問9. 問8で選択した中から、とくに重要だと考えるものを3つまでを選んでください。

問10. あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください。

問11. 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください。

アンケート内容(県計画)に関するお問い合わせ先

◎ 沖縄県こども未来部こども若者政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

TEL:098-866-2100

アンケートフォームに関するお問い合わせ先

一般社団法人Co-Link(コリンク)

〒901-2134 浦添市港川1-17-3-203 TEL:098-943-8938

Mail: kodomoplan@co-link.okinawa



配慮が必要なこども・若者の 意見表明

令和6年11月 沖縄県こども未来部こども若者政策課

調査の概要

調査の目的

沖縄県こども計画（仮称）の策定にあたり、計画の対象となるこども達の意見を計画へ反映させるための取組として、学校を通じて参画の機会を作ることが困難なこども達や、意見表明する環境や手法に特別な配慮や工夫が必要なこども達について、意見表明、社会参画の場づくりを実施しました。

調査対象者数

県内支援団体、施設（11か所）で支援を受けているこども・若者 64名

※教育庁の県立学校日本語支援事業の支援対象者14名（外国につながるこども達）を含む

調査方法

学校を通じて参画の機会を作ることが困難なこども達や、意見表明する環境や手法に特別な配慮や工夫が必要なこども達についても、日頃からこども達へ寄り添い、支援をしている関係者（心理士や支援員等）の協力を頂きながら、アンケートによる意見表明を実施した。

※外国につながるこども達へのヒアリングは、県立学校日本語支援事業の支援員による別アンケートフォームを使用

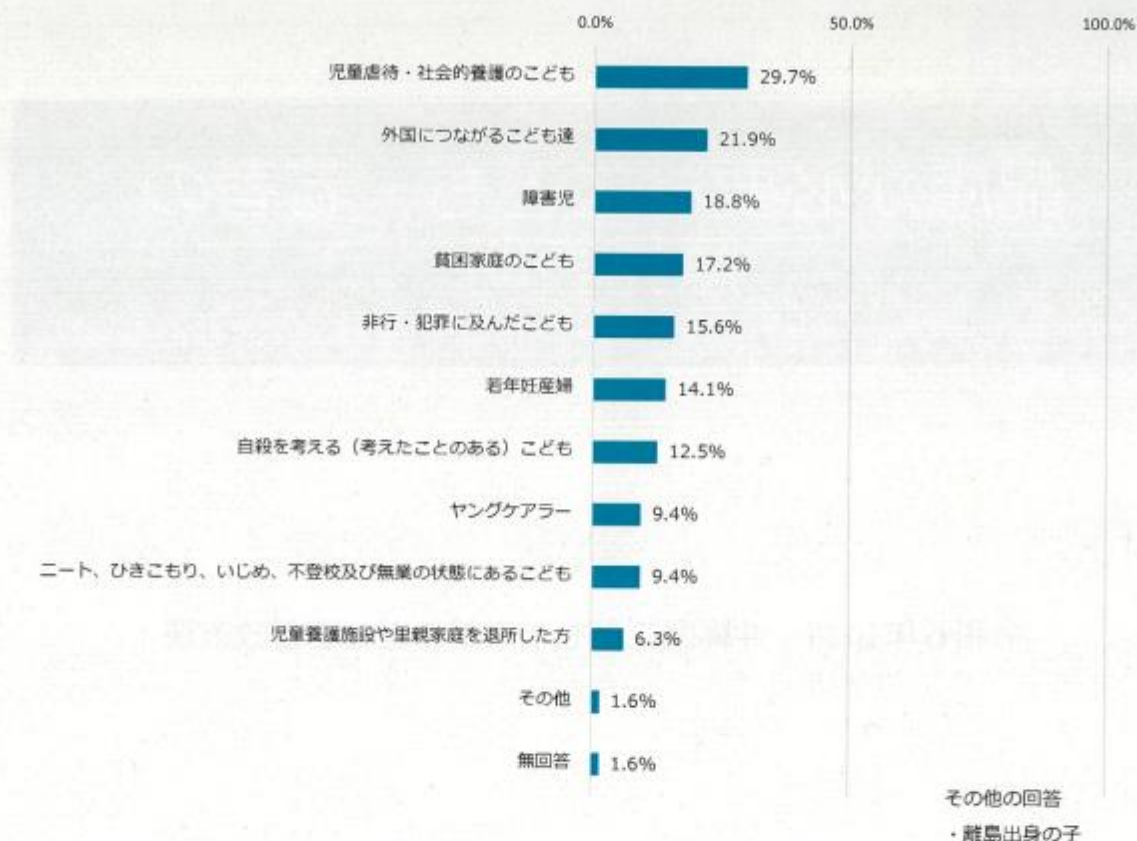
※令和5年度に実施した「青少年の抱える課題や支援策に関する調査」（以下、「青少年調査」という。）における意見も活用

実施時期

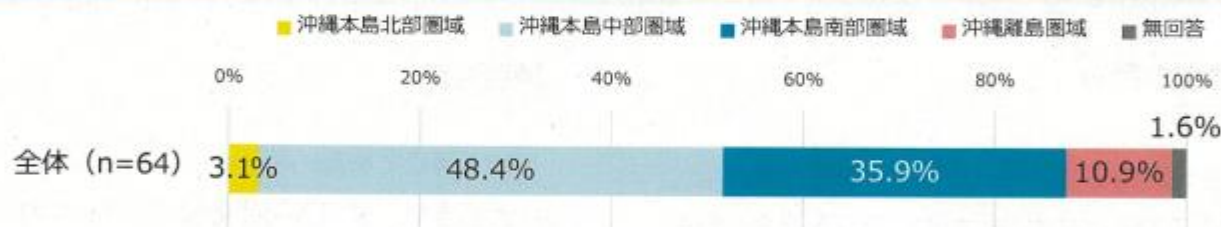
2024年8月23日～9月30日

【調査対象者の属性／支援員回答】

アンケートに回答していただいたことについて、お答えください。その子が置かれている状況や抱える課題等について、該当するカテゴリーにチェックをしてください（複数回答）（n=64）



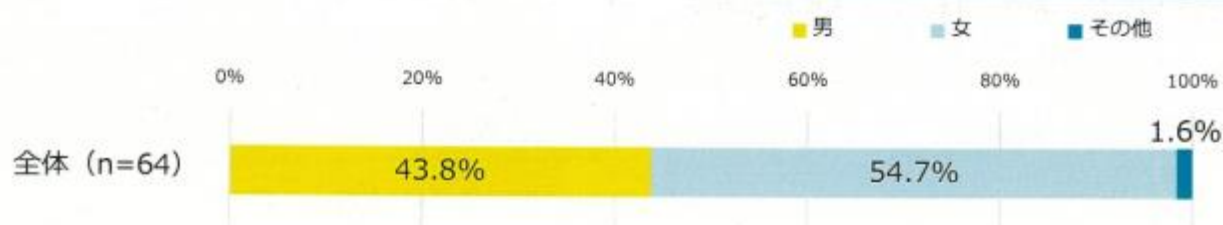
問1 あなたの住んでいる圏域を教えてください



問2 あなたは何歳ですか



問3 あなたの性別を教えてください



問4 現在、あなたががんばっていることやチャレンジしてみたいことはなんですか

勉強・資格

- ・高卒認定に向けての勉強
- ・頑張っていることは受験に向けての勉強、苦手科目の克服。・運転免許取得
- ・漢字検定2級にチャレンジしたい。
- ・タガログ語を独学で勉強している。TOEICも受けたし、勉強を頑張りたい。
- ・デザインやWeb関係の仕事を目指して、Webの勉強を頑張っている。

学校

- ・毎日学校行くこと
- ・色々な人と話すことががんばっています
- ・高校卒業することが目標
- ・パソコンに慣れていきたい

仕事

- ・仕事をいっぱいして、いっぱいかせぐ事
- ・仕事を休まないで毎日行くこと
- ・別の業者も仕事がしやすいように、考えて組む（足場を？）ようにしている
- ・バイト先のボスに言われたことをしっかりやる
- ・復職すること

生活

- ・アパート探し
- ・お仕事と育児の両立を頑張っています。チャレンジしたいことは貯金をして三人で暮らしができるようにしたい
- ・自分の心を鍛えたい
- ・イライラしないようにがんばっている。

運動

- ・バドミントンをがんばっている。チャレンジしてみたいことは、バドミントンで県ベスト3までいくこと。
- ・学校の体育の時間を利用して体育館に併設されている小さいジムに行って、主に脚を筋トレしている。
- ・クラブチームに所属してサッカーの練習を頑張っている。

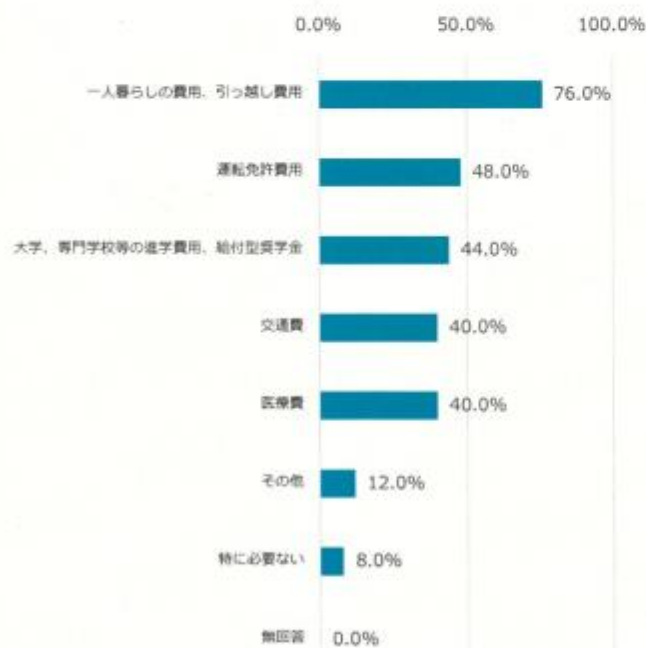
その他

- ・チャレンジしたいことは、アイドルのライブに行ってみる。展望台や東京ディズニーランドに行って初めてのワクワクを味わいたい。県外に試しに1ヶ月ぐらい住んでみたい。県外で花火を見てみたい。
- ・中学の頃からの作詞・作曲、またギター練習をし、昔からのあきらめられない夢のために、ギターならコードアレンジなどやっている。
- ・がんばっていることは自立に向けて考えること。チャレンジしてみたいことは陶芸とか。
- ・話すことが苦手なので、自分なりに沢山話そうに頑張っている。
- ・沖縄の文化を学び、もっと日本語を頑張る。
- ・Webサイト作り（法律も勉強中）

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）

※外国につながることも達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとまとめた

経済的な応援



居場所



【その他の回答】

【その他の回答】

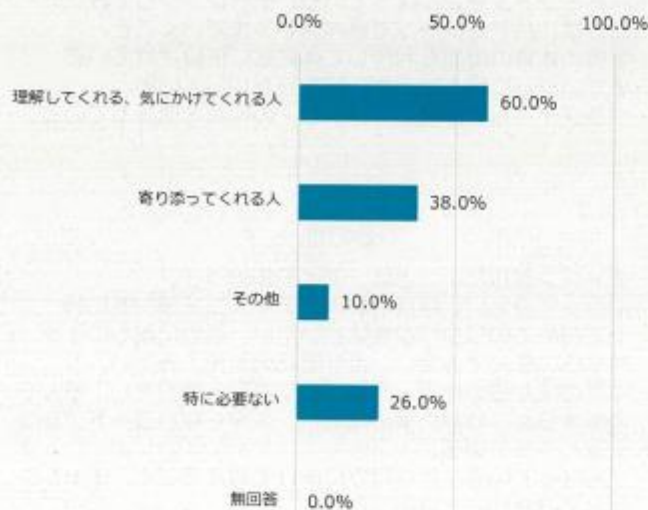
- ・ミルク代、オムツ代等の支援や配布（困窮世帯に限定せず）
- ・学校の給食費や教材費の免除（教科書の支給はあるが、タブレット端末にスキャンで読み込むために、同じ教科書を買って切り離して利用していた）
- ・生活物資の支援よりも自由に使えるお金、クーポン
- ・兄弟姉妹の修学旅行費用、部活の費用

- ・金銭管理の相談ができる居場所
- ・今の施設以外の広い居場所があったら良い。好きな事ができる場所
- ・体を動かす事が好きだから、好きな事ができる場所があるといい
- ・役所以外で相談窓口としての居場所
- ・今「使いたい」又は「使える」サービスや施設の情報を気軽に提供してもらえれば嬉しい
- ・居場所までの送迎支援
- ・似たような経験をした人達が集まる場所
- ・こどもを覗てくれる人が居て、眠れる場所
- ・若年妊産婦だけでなく、初妊産婦向けの居場所

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）

※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

心理的なサポート



【 その他の回答 】

- ・聴いてくれるだけで十分
- ・受容・傾聴・寄り添い・声かけ・気配り
- ・育児情報をくれる人
- ・介助が必要な時、段差とかがあった時にサポートしてくれたら（気にかけてくれたら）嬉しい
- ・無理に何もかも聞き出そうとしない人
- ・頼りになる人
- ・一人暮らしで何かあったとき頼れる人

相談体制



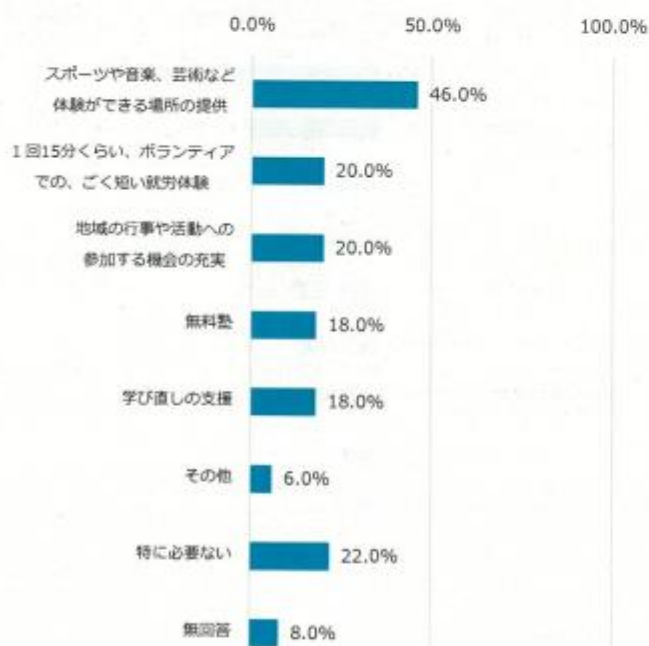
【 その他の回答 】

- ・家に来てもらって相談できたら助かる
- ・案をのんでいて、排便が難しい時があるから相談したい
- ・日本語や日本の習慣が解らない親のケアが大変で、学校に行くのが辛い時期があった。親のケアを誰かにお願いしたい。
- ・頼りたいときだけ頼らせて欲しい
- ・同じ悩みを持つ同世代で相談出来る場が欲しい

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）

※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

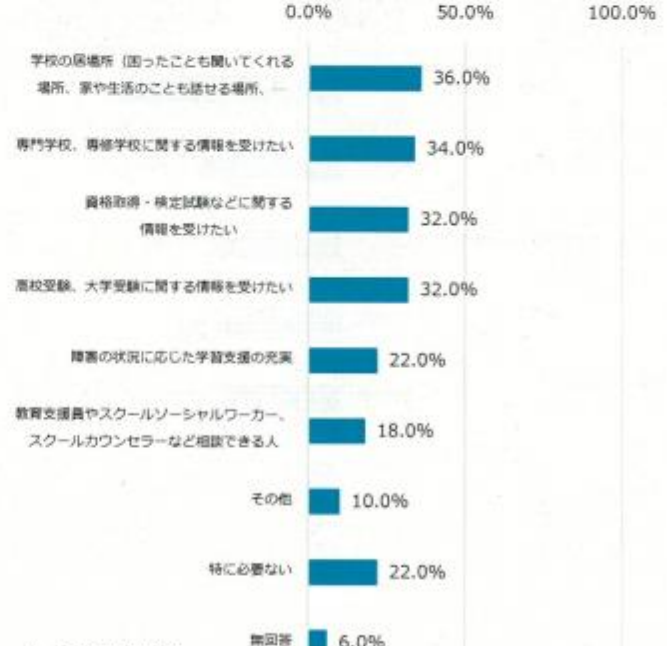
学習・体験



【 その他の回答 】

- ・タブレットでの絵の描き方を教えて欲しい。ドラマの撮影現場を見たい。
- ・障害を持っていても通える塾が欲しい
- ・地域行事に参加するために事前情報が知りたい
- ・人とふれあう事が好きだから、短時間の就労体験がしたい
- ・勉強で解らない所をLINEで聞けるようにして欲しい

学校



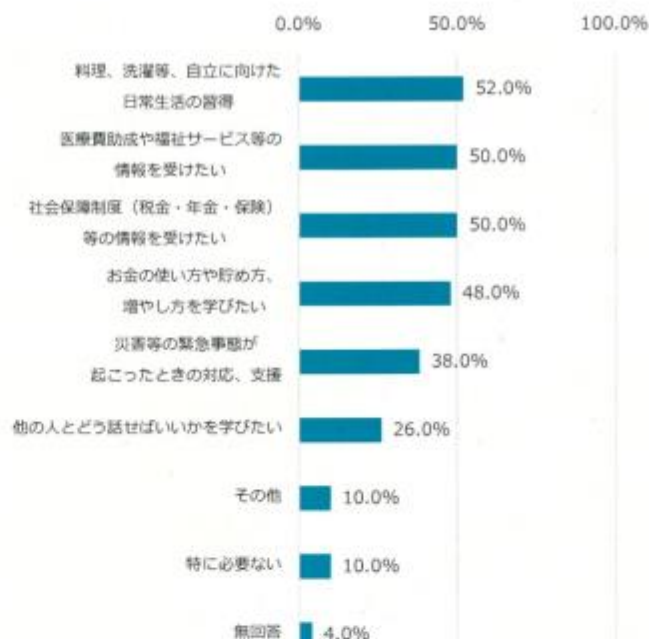
【 その他の回答 】

- ・自分の夢に関する情報を提供して欲しい
- ・進学に関する情報を丁寧に教えて欲しい
- ・授業中に質問しやすい環境
- ・部活をしておけば良かったと思う
- ・教育支援員など相談できる人が毎日いて欲しい
- ・一緒に教科書を読んだり、日本語で解らないところを英語に訳して欲しい。日本語を間違えたり解らない時は教えて欲しい。
- ・いじめ対応で先生以外の相談先、学校外の第三者の介入
- ・学校でもゲームを介して交流が出来ればよかった
- ・話の出来る教師

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）
※外国につながるこども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとまとめた

環境整備

生活サポート



【 その他の回答 】

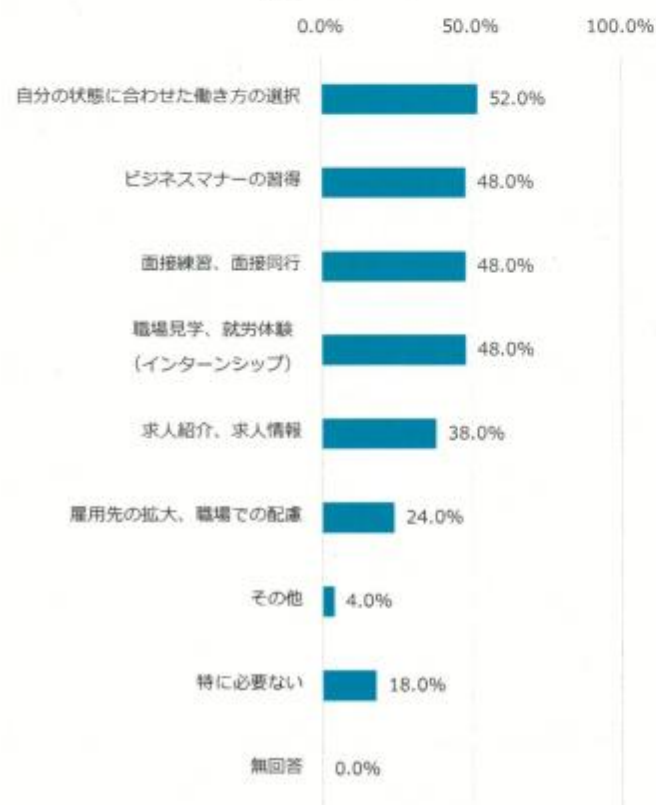
- ・緑が多い、自然豊かな環境
- ・県総合運動公園のようなのびのび遊べる公園が増えて欲しい
- ・障害者に配慮された運動施設（サトル・リズ・うらそえの様な）が増えて欲しい
- ・ゴミを最低限に減らす取組
- ・犬と散歩できる場所
- ・ネット環境の整った場所
- ・バリアフリー情報が手軽にみれるアプリが欲しい
- ・スロープが沢山欲しい。1～2cmの段差でも車輪が乗り越えられない時があるので、段差を減らして欲しい。段差が小さい歩道の整備
- ・車イス用トイレを増やして欲しい

【 その他の回答 】

- ・必要な時にボタンを押すと、直ぐにサポートに来てくれるような仕組みがあったら良い。あと介護用ロボットとかヘルパーとかあったらトイレとかもお父さんが居なくても出来るからいいな
- ・役所の手続きについて教えて欲しい
- ・引っ越しの手続き等の手伝い、家探し
- ・ヘルパーなど、一緒に行動できる人がいたら良い
- ・他の人と話すきっかけをつくって欲しい
- ・バス運賃補助の手続きをサポートして欲しい

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）
※外国につながるこども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとまとめた

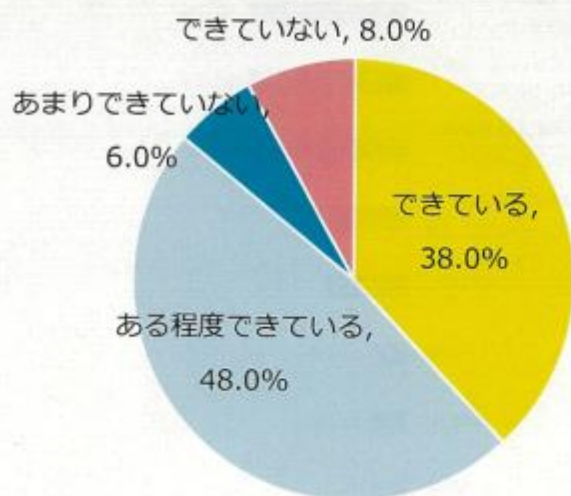
就労サポート



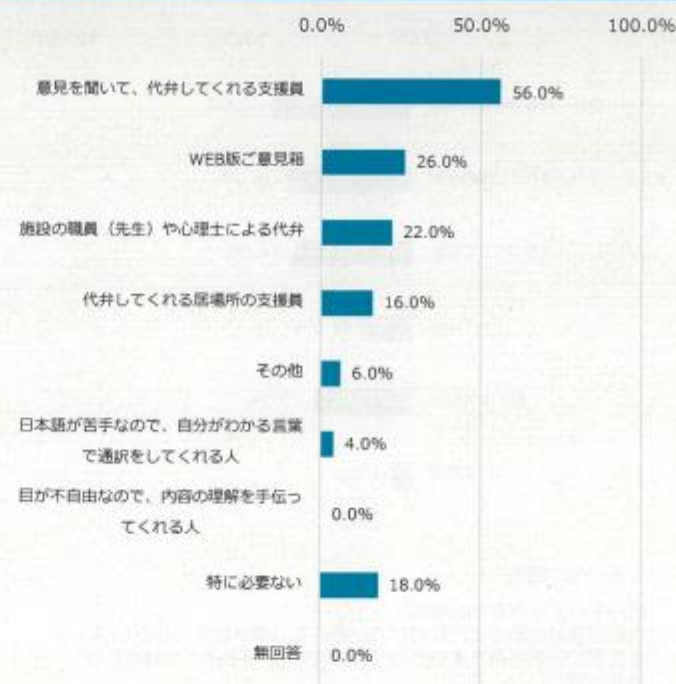
【 その他の回答 】

- ・自分の事をわかってくれる人が沢山いる場所で働きたい
- ・何でも相談できる環境があったら良い
- ・母親（若い親・こどもがいる親）への就職活動の支援

問6 あなたの声や意見を周りの大人などに伝えることは出来ていますか (n=50)



問7 あなたの声や意見を伝えるために、どんな仕組みや環境があったらいいと思いますか (n=50)



その他の回答

- ・決めつけずにしっかり話を聞いて、その上で話せる人がいて欲しい
- ・職場で伝えて、代弁してもらっている
- ・代弁は必要ないが、話を最後まで聞いて、その話をまとめてくれる人がいて欲しい

問8 その他、大人に伝えたいことや自分が思っていることがあれば、自由に書いてください

勉強・習い事

- 勉強（数学）を教えてほしい。
- ダンス教室に通いたい。おしゃれを楽しみたい。着物を着てみたい。
- 専門学校に行けて、不安さえなければ良い。

暮らし

- こどもを1人の人として扱ってほしい。こどもだからって下に見ないでほしい。
- もっと、こどもに寄り添ってほしい。
- ゲーム機をOKにしてほしい。一人っ子と兄弟姉妹のいる人で察を分けて欲しい。中学生もスマホを持ちたい。施設のみんなで旅行したい。冬の北海道とユニバに行ってみたい。
- パソコンが欲しい。以前は音楽ライブにも行けていたので、また行けるようになりたい。ペンが欲しい。
- 特にはないですが、充実した毎日を送らせてもらっている周りの方々に感謝して、今後とも限りないサポートをお願いしたい。
- 充実した毎日を送っている。話すことが好きだからもっと活かせる所があるといいなと思う。
- トラウマを甘く見ないで欲しい。その場しのぎではなくて、その先、将来どうなるかまで考えて必要な支援や治療をこどものうちにしてあげて欲しい。根性論だけでどうにかするのはやめてあげてください。きっとその子達は大人になる準備をする前に普通のこどもである体験が必要です。AC（アダルトチルドレン）のまま、手を離さないであげて欲しい。
- 周りの人が思うより自分の精神状態は酷い状況です。双極性障害にかかったのは成人になってからなので、半分以上は健常者でした。このツラさは健常者が理解するには限界があると思う。

提案・要望など

- 今は集団生活だけど、もう少し人数が少ない環境で生活したい。
- 体を動かす事が好きなので、スポーツや運動できる環境（施設ジムとか）があれば良い。
- 大人やこども未来部の皆さんとの、話し合いの場を設ける事が大事だと思う。
- こどもだけでなく、その場で働く職員の意見も積極的に取り入れ、大人が働きやすい環境を整えた方が、こどもも過ごしやすくなる。
- 保育園に早く預けられるようにして欲しい。抽選漏れがなくなるよう、保育所を増やして欲しい。
- 電話での相談窓口は大体混みあってて、つながらないので意味がない。
- 若年結婚した方に対する支援（例：引っ越し費用の一部支援等）、少しでもいいから経済的な支援があればとても助かる。引っ越し費用について、今は県内市町村数か所しかないけど、県内全域になって欲しい。
- 丁寧なよりそいが欲しい。
- 離島にも今通っている施設（養護施設や里親の元を出た若者の支援）を作って下さい。
- 誰かと絶縁するための支援をして欲しい。
- 若年妊産婦の支援をこどもが6歳になるまで利用出来るようにして欲しい。
- 「支援」と言われたら頼らない。

沖縄県こども計画（仮称）に対するこども達の意見反映の取組について （「沖縄県へこども・若者の声を届けよう！」実施要領）

沖縄県こども未来部

こども若者政策課

【 アンケートに協力して頂く関係者（支援員等）の皆様へ 】

本県のこども施策の推進に対し、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今年度、沖縄県においては、令和5年4月より施行された「こども基本法」に基づく都道府県計画として「沖縄県こども計画（仮称）」を策定することとしており、社会の一番の宝であるすべてのこども達が生き生きと暮らせる社会の実現のために必要な支援策等を検討しているところです。

計画の策定にあたっては、その対象となるこども達から広く意見を聴き、計画へ反映を検討することとしており、県は5月中旬から7月までの間、県内の各学校等においてこども達の意見表明、社会参画の場づくりを行い、県計画に係るこども達の意見を聴いてまいりました。

さらに当該取組の一つとして、学校を通じて参画の機会を作ることが困難である場合や、意見表明する環境や手法に特別な配慮や工夫が必要なこども達についても、日頃から当該こども達へ寄り添い、支援をして頂いている関係者（支援員等）の協力を頂きながら、意見表明の場づくり（アンケート）を実施したいと考えております。

これまでの支援活動を通して培われた経験を活かしていただきながら、声を聴かれにくい、声を届けにくいこども達の意見を当該アンケートを通して県に届けて頂けますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

○アンケートの実施について

当該アンケートの実施にあたっては、下記手順1～3に従って進めてください。

手順1 こども達へアンケートを行う趣旨を説明

アンケートを実施する前に、以下の点についてこども達へ説明をする。

- ①アンケートは、今年度県が策定する「沖縄県こども計画」の策定にあたって実施するものであるということ。
- ②「沖縄県こども計画」は、沖縄の一番の宝であるこども達が、生き生きと暮らせる社会を実現するために作る計画であり、計画を作るためには、計画の対象であるこども達の意見やアイデアが必要であるということ。
- ③県計画の対象となるこども達がどんな応援（支援）を必要としているのかなど、自分の意見をアンケートを通して表明しよう。
- ④アンケートに答える前に、リーフレットを活用して「子どもの権利」について学んでみよう。

手順2 「子どもの権利」についての学習

アンケートに答える前に、「沖縄県子どもの権利を尊重し虐待から守る社会づくり条例」のリーフレット（見開きの左側のページ）を活用して、こども達と一緒に「子どもの権利」（4つの大切な子どもの権利）について学ぶ。

こども達には、4つの大切な権利のうちの「参加する権利」を活用して、今の自分に必要な支援（応援）や自分の意見を伝えるためにどんな仕組みが必要なのかなど、アンケートを通して自分の考えを表明してみよう、と説明する。

手順3 アンケートの実施

こども達と一緒にアンケートを始める前に、アンケート用紙の前段に記載されている「はじめに」の部分を、こども達と一緒に確認してアンケートを実施する。

○アンケートの際の留意点

こども達のアンケートへ協力して頂くうえで、以下の点にご留意下さい。

1. こども達の意見に評価を付けたり、特定の意見を誘導するようなことがないようお願いします。
2. こども達は、アンケートの途中で協力を辞退することも可能です。
3. こども達は、回答したくないと感じる質問に対して答えなくても大丈夫です。

○アンケートが終わりましたら

こども達のアンケートへ協力して頂いた関係者（支援員等）の皆様には、下記のとおり「調査票（支援員用）」の記入をお願いします。

1. 調査票は、アンケートに回答したこども一人に対して一枚ずつ作成。
2. 調査票には、アンケートに回答したこどもの通し番号を記入（例：〇〇児童館で5人がアンケートに回答したら、「〇〇児童館No. 1」から「〇〇児童館No. 5」までの調査票が作成される）。
3. 調査票は、アンケートとは別封筒（提出用封筒2（調査票用））に入れて、沖縄県宛の返信用封筒で提出。

沖縄県へこども・若者の声を届けよう！

（沖縄県こども計画（仮称）に対するこども達の意見反映の取組）

はじめに

このアンケートに回答するかどうかはあなたの自由ですが、みなさんの回答一つひとつが大切な意見です。

このアンケートは

1. 何を答えても間違いではありません。思ったことや考えたことを何でも書いて大丈夫です。
2. アンケートには名前を書かないので、だれが言った意見かわからないようになっています。
3. 話したくないことは話さなくて大丈夫です。
4. このアンケートで答えたあなたの意見が計画に反映されるとき、別の言い方になったり、似ている意見とまとめられたりすることもあります。
5. すべての意見が計画に反映されるとは限りません。
6. みんなの意見がどうなったのか、後で県からお知らせ（フィードバック）します。

以上のことをふまえて、ぜひ協力をお願いします。

問1 あなたの住んでいる圏域を教えてください。

1. 沖縄本島北部圏域
2. 沖縄本島中部圏域
3. 沖縄本島南部圏域
4. 沖縄離島圏域

北部圏域	名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町
中部圏域	宜野湾市、浦添市、沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町
南部圏域	那覇市、糸満市、豊見城市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町
離島圏域	宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町、伊平屋村、伊是名村、伊江村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、久米島町

問2 あなたは何歳ですか？

（ ）歳

問3 あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

問4 現在、あなたががんばっていることやチャレンジしてみたいことはなんですか。



問5 今のあなたにどんな応援(支援)があったらうれしいですか。
次の中からあなたの考えにあてはまるものを選んでください(複数回答可)。

- | カテゴリー | 選択肢 |
|------------|--|
| 1 経済的 | ☐ 一人暮らしの費用、引っ越し費用
☐ 運転免許費用
☐ 医療費
☐ 交通費
☐ 大学、専門学校等の進学費用、給付型奨学金
☐ その他 ()
☐ 特に必要ない |
| 2 居場所 | ☐ いつでも利用できる居場所
☐ 他者と交流できる居場所
☐ 食事ができる居場所
☐ 学習サポートが受けられる居場所
☐ 宿泊型の居場所
☐ 居場所・支援先・各種支援窓口の情報
☐ 1対1で少しずつ場所になれるところから手伝ってくれる居場所
☐ 2～3人の少ない人数で活動できる居場所
☐ その他 ()
☐ 特に必要ない |
| 3 心理的なサポート | ☐ 理解してくれる、気にかけてくれる人
☐ 寄り添ってくれる人
☐ その他 ()
☐ 特に必要ない |
| 4 相談 | ☐ 困ったときに相談できる窓口（電話・SNSなど）
☐ アドバイスが受けられる
☐ いつでも相談できる人がいる
☐ 自分の体調や精神面についての相談ができる
☐ 支援や世話をしてくれる人が居なくなった後の生活の相談ができる
☐ 1回で終わるのではなく、週に1回や2週に1回など続けて相談ができる
☐ 家や家の近くなど、いつも生活している場所の近くで相談できる
☐ 日本語が苦手なので、自分がわかる言葉で相談できる
☐ 耳が不自由なので、手話の通訳の方と一緒に相談できる
☐ その他 ()
☐ 特に必要ない |

9 就労サポート

☐ 職場見学、就労体験（インターンシップ）

☐ 面接練習、面接同行

☐ ビジネスマナーの習得

☐ 求人紹介・求人情報

☐ 自分の状態に合わせた働き方の選択

☐ 雇用先の拡大、職場での配慮

☐ その他（ ）

☐ 特に必要ない

問6 あなたの声や意見を周りの大人などに伝えることはできていますか。

☐ できている

☐ ある程度できている

☐ あまりできていない

☐ できていない

問7 あなたの声や意見を伝えるために、どんな仕組みや環境があったらいいと思いますか。

☐ 意見を聞いて、代弁してくれる支援員

☐ Web版ご意見箱

☐ 代弁してくれる居場所の支援員

☐ 施設の職員（先生）や心理士による代弁

☐ 日本語が苦手なので、自分がわかる言葉で通訳をしてくれる人

☐ 目が不自由なので、内容の理解を手伝ってくれる人

☐ その他（ ）

☐ 特に必要ない

問8 その他、大人に伝えたいことや自分が思っていることがあれば、自由に書いて下さい。

～ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

